

平成26年度 地域型住宅ブランド化事業 採択グループ



「よすが」を創る会 ふくしま魁の家

「よすが」とは、身すか(よすか)に由来する。語源は「寄せる」と「寄る」とを意味する「寄る」と「よす」とを合わせた「よすが」という意味を込めてグループ名を命名したのが、「よすが」を創る会だ。

福島県郡山市の事業者を中心としたグループの地域型住宅「ふくしま魁の家」は、▽耐震等級2以上(多雪地域は積雪荷重を考慮)▽柱は4寸▽地域材は構造材、羽柄材のそれぞれ過半で使用する▽などが共通ルール。

地域材は国内外の合法木材としながら、福島県産材や、隣県の栃木と茨城県産材を優先的に使用。地元とその周辺地域の原木活用を促している。

「27年度は、さらに1戸追加しようとしています。(2月)20日追加の打診が来ましたが、この時期に追加と言われるのは、どなたかご迷惑でしょうか」と話すのは、事務局・阿久津則行社長だ。

「27年度は、さらには追加の打診が来ましたが、この時期に追加と言われるのは、どなたかご迷惑でしょうか」と話すのは、事務局・阿久津則行社長だ。

「よすが」とは、身すか(よすか)に由来する。語源は「寄せる」と「寄る」とを意味する「寄る」と「よす」とを合わせた「よすが」という意味を込めてグループ名を命名したのが、「よすが」を創る会だ。

今年度の採択時点で、割り当て戸数は、未経験4戸、経験4戸、経験4戸の計12戸。途中で実施された追加・返却申請の際に未経験4戸を返却する一方で、経験4戸として13戸を追加割り当ての戸数は計27戸となった。

「27年度は、さらには追加の打診が来ましたが、この時期に追加と言われるのは、どなたかご迷惑でしょうか」と話すのは、事務局・阿久津則行社長だ。

「27年度は、さらには追加の打診が来ましたが、この時期に追加と言われるのは、どなたかご迷惑でしょうか」と話すのは、事務局・阿久津則行社長だ。

「27年度は、さらには追加の打診が来ましたが、この時期に追加と言われるのは、どなたかご迷惑でしょうか」と話すのは、事務局・阿久津則行社長だ。

「よすが」とは、身すか(よすか)に由来する。語源は「寄せる」と「寄る」とを意味する「寄る」と「よす」とを合わせた「よすが」という意味を込めてグループ名を命名したのが、「よすが」を創る会だ。

今年度の採択時点で、割り当て戸数は、未経験4戸、経験4戸、経験4戸の計12戸。途中で実施された追加・返却申請の際に未経験4戸を返却する一方で、経験4戸として13戸を追加割り当ての戸数は計27戸となった。

「27年度は、さらには追加の打診が来ましたが、この時期に追加と言われるのは、どなたかご迷惑でしょうか」と話すのは、事務局・阿久津則行社長だ。

「27年度は、さらには追加の打診が来ましたが、この時期に追加と言われるのは、どなたかご迷惑でしょうか」と話すのは、事務局・阿久津則行社長だ。

「27年度は、さらには追加の打診が来ましたが、この時期に追加と言われるのは、どなたかご迷惑でしょうか」と話すのは、事務局・阿久津則行社長だ。

「27年度は、さらには追加の打診が来ましたが、この時期に追加と言われるのは、どなたかご迷惑でしょうか」と話すのは、事務局・阿久津則行社長だ。

「よすが」とは、身すか(よすか)に由来する。語源は「寄せる」と「寄る」とを意味する「寄る」と「よす」とを合わせた「よすが」という意味を込めてグループ名を命名したのが、「よすが」を創る会だ。

今年度の採択時点で、割り当て戸数は、未経験4戸、経験4戸、経験4戸の計12戸。途中で実施された追加・返却申請の際に未経験4戸を返却する一方で、経験4戸として13戸を追加割り当ての戸数は計27戸となった。

「27年度は、さらには追加の打診が来ましたが、この時期に追加と言われるのは、どなたかご迷惑でしょうか」と話すのは、事務局・阿久津則行社長だ。

「27年度は、さらには追加の打診が来ましたが、この時期に追加と言われるのは、どなたかご迷惑でしょうか」と話すのは、事務局・阿久津則行社長だ。

「27年度は、さらには追加の打診が来ましたが、この時期に追加と言われるのは、どなたかご迷惑でしょうか」と話すのは、事務局・阿久津則行社長だ。

「27年度は、さらには追加の打診が来ましたが、この時期に追加と言われるのは、どなたかご迷惑でしょうか」と話すのは、事務局・阿久津則行社長だ。

割増で補助金が付いたら

福島県は南北に連なる阿武隈高地と奥羽山脈を境に太平洋側から、中通り、中通り、会津地方に分けられ、それぞれ気候が大きく異なる。いわき市など太平洋に面する中通りは夏も涼しく、雪がほとんど降らない地域。会津若松市がある県西部の多雪地帯。福島市や郡山市がある中通りは、その中間の気候だ。

「27年度は、さらには追加の打診が来ましたが、この時期に追加と言われるのは、どなたかご迷惑でしょうか」と話すのは、事務局・阿久津則行社長だ。

グループ化の意義はあった

27年3月末で、ブランド化事業は一区切りです。さらに事務局が構成員への情報の中継点となることにも意味があるという。

「わたしが知る限り、住宅に関する施策がこれほど多く出るのは珍しい」という状況のなか、個社で多くの情報を得て理解し、処理することは困難だということを見解だ。

木目沢代表もグループ化によって、知識・技術等の会社としての力の向上、横の連携などが図れた「手応えがある」と実感している。

さらに木目沢代表は、「ゆくゆくはグループが受注の窓口となる方向に進めば最高です。そうすれば地域の活性化にもつながると思います」とも語った。

27年度に開始予定のグリーン化事業にも参加する予定だ。ブランド化による事業者の希望する事業があることなどが理由だ。また、希望する事業者がいないという理由も、相談や問い合わせが入るという。

補助対象費はどうか？

グリーン化事業で阿久津社長が懸念していることがある。新たに加入したゼロエネ住宅の補助対象費についてだ。経産省の「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業」は本年度の上限が350万円だ。

補助対象費は『材料費・設備費・工事費の2分の1以内』という要件だった。「知る限り、実際の支給額は350万円ではなく、130万円や150万円なんです。国交省の165万円の方は、要件が『ゼロエネ化のための掛かり増し費用の2分の1』でした。これらを考えるとグリーン化のゼロエネ住宅も、全額にならないんじゃないかと。そうなったら、みんな低炭素にいくかもしれません」

あくまで仮定の話だが、実際はどうか。グリーン化事業の詳細の発表を待ちたい。

グループ概要

グループ名:「よすが」を創る会
地域型住宅:ふくしま魁の家
供給対象地域:福島県全域 代表者:木目沢善喜(株)セキショウ建設・福島県郡山市 事務局:阿久津則行(株)メディアサポート(福島県郡山市) 結成年月:平成24年5月 採択戸数:27戸(補助金の活用実績のない施工事業者による実施率=0戸、施工事業者の制限を設けない実施率=27戸) ※追加・返却分含む 採択実績:3回目 対象地域材:国内外の合法木材(合法木材証明制度) グループ構成員
原木供給:5、製材:集成材製造、合板製造:5、建材流通(木材を扱わない事業者を除く):6、プレカット:3、設計:4、施工:16、これら以外の業種:1

コントロールされた過不足のない換気で常に快適な室内環境を保ち、湿気やカビなどを防ぎ、人と住まいの健康を守ります。

太陽熱利用型 デマンド換気システム

MERIT 1
太陽熱で温められた外気を取り入れることで熱損失を抑えることができ、さらに省エネ

MERIT 2
給気予熱と外気負荷の集中で快適さは熱交換換気以上。

MERIT 3
シンプルな構造であるため、メンテナンス性に優れ、壊れにくいのも特徴です。

デマンド換気ファン(V4A)
パッシブ換気と組み合わせ可能

Solar Warmer

デマンド換気 マツナガ 検索
www.ms-matsunaga.jp

株式会社 マツナガ
〒178-0064 東京都練馬区南大泉5-18-19
TEL.03-3925-0065 FAX.03-3925-0061

キューブ型住宅の換気・通気・雨仕舞の問題は『ハウゼコセット』で解決!!

通気・換気に起因するトラブルを一挙に解決するハウゼコセット。壁下換気に『アンタレスミニ』、壁裏換気に『アンタレスベント』、入隅部の換気に『インコーナーベンチレーションハット』、小屋裏換気には『ベテルギウスT』。キューブ型デザイン住宅にぴったりのセットです。

壁下換気部材「アンタレスミニ」
壁裏換気部材「アンタレスベント」
立平用換気雨押え「ベテルギウスT」
通気入隅ハット「インコーナーベンチレーションハット」

3月13日、14日開催「ジャパン建材フェア(小間番号「B-58」)に出展しております。

住まいに自然の流れをつくる
hauseco 株式会社ハウゼコ

大阪市中央区南船場 2-10-28 下村ビル 2F
☎06-4963-8266 FAX.06-4963-8267
http://hauseco.jp/